

## 第14回広陵町地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時：平成28年6月22日（水）15：30～16：30

場所：クリーンセンター広陵3階大会議室

出席者：山村会長、東洋一委員、笹井委員、東秀行委員、木村委員（代理：中井様）、折原委員（代理：境内様）、平塚委員、霜永委員（代理：布田様）、山野委員（代理：上浪様）、福寫委員（代理：西川様）、西本委員、石川委員（代理：米田様）、島田委員（代理：鋤田様）、古田委員、吉田委員

欠席者：吾妻委員、吉崎委員

### 1 開会進行（事務局）

### 2 会長あいさつ

みなさんこんにちは。4月に広陵元気号の運行内容を変更し、10月から本格運行になる。運行内容を変更して喜んでもらっているかと思ったら、不便になったという声もある。良くなったという声は、あってもなかなか出てこない。いろいろとご提言もあるので、反映していくことも大切だと思う。公共交通を利用してもらう仕組みを作っていくかといけない。車社会から公共交通の利用に戻ってもらうことが必要。施策の中で対応していきたい。

全国スマートウェルネスシティの首長会議にも参加している。公共交通を利用して健康になろうというもの。広陵町のあり方について考えたとき、健康寿命を延ばす意味でも、広陵元気号は意味があると思う。

本日もよろしくお願ひします。

### 3 議題

#### （1）広陵元気号の本格運行について

##### 【事務局説明】

資料1、2、3、4、5、6の説明。

##### 【質疑応答】

##### ○会長

ご意見ご質問はありませんか。乗り継ぎの待ち時間を少なくするようなダイヤに変更させていただいているということです。

##### ○委員

アンケートで寄せられた意見を、ここに取り入れているのですね。

##### ○事務局

はい、そうです。無料という意見には対応していませんが。

○委員

本格運行してみれば、いろいろ問題が出てくることになるだろうから、それから対応を考えていく必要があると思う。

○事務局

今までご利用されている方のご意見をうかがっていくことになる。生活に合わせるには、慣れてもらうしかない。本格運行後にいろいろとご意見をうかがって、検討材料にしていきたい。

○委員

さわやかホールで、ある人にお聞きしたが、運転手に役場に行くかと聞いたら、行くということだったので乗ると、1時間ほどかかってしまい、歩いたほうが早かったと言っていた。時刻表だけでは分からない面がある。

○事務局

高齢者の利用が多いので、老人会などで、こういう乗り方がありますよ、という説明をさせてもらいたい。

○委員

富山県の高岡市で、観光案内所でお聞きしてバスを利用したが、運転手が街並みを案内してくださった。これがよかった。広陵町でも、地場産業の靴下とかを説明されてはどうか。広陵町のPRも入れていただければよい。100円では成り立たないので、無料だと乗りづらいが、有料になれば乗りやすいということもあり、有料は悪いことではない。

○会長

公共交通を利用して多くの方に出かけていただければと思う。

○委員

いろんな意見が出てくると思う。

○会長

利用率を上げる提案をいただけるとありがたい。

そうしましたら、先ほどの説明の通り進めていただくということで、承認いただけますか。それでは、承認させていただきます。

(2) 地域内フィーダー系統生活交通確保維持計画について

【事務局説明】

資料7の説明。

【質疑応答】

○会長

ご意見ご質問はありませんか。この申請を6月末までに行わないといけない。

○委員

補助金の上限額ですが、人口集中地区以外の人口に単価をかけているが、12,748人は、どの地域の人口を指すのか。

○事務局

人口集中地区以外の人口は、図に示している。平成 22 年の国勢調査で示されており、薄いピンクと濃いピンク以外の地区が人口集中地区以外の地域になる。

○委員

町の人口から換算すると、人口集中地区人口が約 23,000 人おられるということですね。

○事務局

その通りです。

○委員

今後、ヒアリングさせていただく予定です。

○会長

補助金は奈良交通に入るのですか。

○事務局

委託料で相殺させていただく。

通常であれば約 150 万円の補助金となっていたが、地域公共交通網形成計画を作ったことによって約 300 万円の増額となっている。

○会長

承認していただくということによろしいですか。では、承認とさせていただきます。

#### 4 報告

(1) 車両ラッピングに係るデザインの公募について

【事務局説明】

資料 8 の説明。

【質疑応答】

○会長

ご意見ご質問はありませんか。いいデザインが出てくることを期待したい。基本デザインを作ってもらふことになる。

#### 5 その他

○会長

何かご意見ご質問はありませんか。

○委員

バスの道中の観光案内ですが、停留所の間隔が狭いので、案内をしている間に次の停留所に着いてしまいます。原稿をもらえれば、音声の案内に入れることができる。音楽を入れることもできる。アナウンスはできますので、調整させていただきたい。

○会長

常時、流れているのでも良いのでしょうかね。

○委員

できますが、常時はうるさいという人もいる。

○会長

奈良交通と相談しながら進めていければ。ほかに何かありませんか。田原本町で、運転免許証を返納すると、デマンド交通の無料乗車券を配布するそうですが、地域に広めることについては、どうですか。

○委員

運転免許証については、香芝市では、商工会にご協力いただき、18店舗にご参加いただいて、6月1日から運用されている。広陵町内の高齢者の会議でそのようなことを紹介しましたら、広陵町内ではまだない、広陵町内でも特典がないのかというご意見だった。町内のお店についてもご検討いただければ、と考えているところです。

○委員

県全体として取り組んだほうがよい。

○委員

免許返納の証明書を見せれば、コミバス無料というのものもある。広陵町も考える必要がある。高齢者の交通事故が多いので、社会的にはプラスになる。

○委員

昔の交通事故では、高齢者は被害者となるが多かったが、今は高齢者のほうが過失の大きい場合が約3倍多い。事故を起こす可能性の高い高齢者には免許返納を働きかけている。

○会長

事務局でも検討してください。

○事務局

奈良交通でもゴールド倶楽部という制度があるので、免許を返納していただく取り組みを検討していきたい。

○会長

近鉄箸尾駅が無人になって、駅の中の見まわり活動をできないかという提案が出てきたので、駅長に問い合わせをしたら、近鉄からは勝手にやるのはよいが、事故の補償はできない、という当然の回答であった。存続の危機という噂話が出てくるので、近鉄さんと協力していろいろとやっていきたい。

これで何もなければ、これで会議を閉じさせていただきます。

○事務局

次の会議は、平成29年1月頃を予定している。9月30日には、広陵元気号のお披露目式と表彰式を開催する予定です。

○会長

本日は、お忙しい中、ありがとうございました。